

会 議 録

会議の名称	白岡市介護保険等運営協議会第3回会議
開催日	平成31年3月19日（火）
開催時間	午後1時30分 から 午後3時00分 まで
開催場所	白岡市役所4階 特別大会議室
会長の氏名	浅井 嘉一
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	北村 秀和 木下 健輔 伊藤 昌美 中村 由美子 山崎 文博 一ノ渡 恵子 角田 由美子 稲垣 操 柳 章 浅井 嘉一 伊藤 伸一 齋藤 恵生 浅野 悦子 13人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	なし
説明員の職・氏名	高齢介護課主幹 齋藤 三彦 高齢介護課地域支援担当主査 吉田 宏 高齢介護課介護認定給付担当主査 山岸 小依 高齢介護課介護保険管理担当主査 島村 哲也
事務局職員 の職・氏名	健康福祉部長 神田 信行 高齢介護課長 中山 美佐子 高齢介護課主幹 齋藤 三彦 高齢介護課地域支援担当主査 吉田 宏 高齢介護課介護認定給付担当主査 山岸 小依 高齢介護課介護保険管理担当主査 島村 哲也 高齢介護課介護保険管理担当主事 清水 一貴
その他 会議出席者 の職・氏名	

<p>会議次第</p>	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募について</p> <p>(2) 地域密着型サービス事業者の指定等に係る同意について</p> <p>(3) その他</p>
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・白岡市介護保険等運営協議会第3回会議次第 ・資料1 平成31年度白岡市地域密着型サービス事業者公募要領（案） ・資料2 地域密着型サービス事業者等の指定等に係る同意について ・資料3 低所得者の第1号保険料軽減強化について ・資料4 高齢化率について ・資料5 マイエンディングノート ～自分らしく生きるために～ ・資料6 みんなでつながるまちづくりを考える in しらおか

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
課長	開会にあたり、会議出席者に対し、謝意を述べ、開会を宣す。続いて、会長に挨拶を願う。
会長	挨拶を行う。
課長	会長が議長となり、議事を進めるよう願う。
会長 (議長)	議事を進行する旨宣する。 (1) 看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募について
議長	続いて、本日の議題の「(1) 看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料1の「平成31年度白岡市地域密着型サービス事業者公募要領(案)」に基づき説明を行う。
議長	質疑がないか、委員に諮る。 (質疑なし)
	(2) 地域密着型サービス事業者の指定等に係る同意について
議長	次に、「(2) 地域密着型サービス事業者の指定等に係る同意について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料2の「地域密着型サービス事業者の指定等に係る同意について」に基づき説明を行う。

議長	<p>久喜市に、有限会社てまりの指定依頼をした理由の中で、外出活動を積極的に行っているとあるが、具体的にどのような活動を行っているか。</p>
事務局	<p>具体的な活動内容は不明だが、外出活動は週に1回から2回行っている。白岡市内の同サービス事業所については月に1回から2回ということで、有限会社てまりの方が頻繁に外出活動を行っているため、有限会社てまりの利用の必要性を認めた。</p>
A 委員	<p>最近、父親が施設に入所し、外出やりハビリのことを気にしていたところであった。</p>
議長	<p>介護保険制度では様々な施設があるため、ニーズに応じて市外の施設に入所することは良いことではないかと個人的には考える。</p>
B 委員	<p>市内の施設が少ないので、それぞれのニーズに応えるのには限度があると感じる。</p>
C 委員	<p>新白岡の施設は、とても良かったと聞く。施設によって、外出がほとんどないようなところもあると聞くが、施設によって色々と違うと感じている。</p>
議長	<p>利用する方々の注文に応えることは施設として良いことだとは思いますが、実態としてはなかなか大変なのではないかと感じる。</p>
議長	<p>(3) その他</p> <p>次に、「(3) その他」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。</p>

事務局	<p>資料3の「低所得者の第1号保険料軽減強化について」</p> <p>資料4の「高齢化率について」</p> <p>資料5の「マイエンディングノート ～自分らしく生きるために～」</p> <p>資料6の「みんなでつながるまちづくりを考える in しらおか」</p> <p>上記資料に基づき説明を行う。</p>
C 委員	<p>高齢化率について、新白岡に若い人が多いので、もう少し低い数値になると思っていた。</p>
D 委員	<p>65歳以上の方の調査を行っているが、徐々に高齢化率が上がっているのを実感している。</p>
E 委員	<p>介護保険料の運用については、負担はあるものの、1割負担でサービスを受けられ、又、軽減措置が図られる等、施設に入所しやすい状況であると感じる。入所されている方も年齢が上がっており、入所してすぐの方は外出したいと思うだろうが、外出できない方も中にはいる。桜の季節となるので、楽しいイベントを考えていきたい。</p>
議長	<p>周辺の町の自治会では、色々なイベントをやっているか。</p>
E 委員	<p>サロンとカフェをやっている。第2火曜日はサロンにて皆で食事をする。最後の火曜日は、カフェを地域包括支援センターの方と協力して実施している。カフェは、大体30人程参加している。サロンに参加した方々に話を聞くと、65歳以上の方が単身で生活している状況を聞く。高齢者の健康を維持するためにも、サロンとカフェで周辺地域の方々と毎日の生活をつないでいけるよう民生委員の方と協力し合っている。</p>
議長	<p>昨日自治会の事務所で80歳を過ぎた方がいらっしゃって、私生活のこと等多くの話がされた。話をする機会が欲しいのかもしれない。</p>

F 委員	<p>個人的には高齢者の絶対数は、これから減っていくように感じる。団塊の世代が高齢者となり、その下の世代は人口が減っており、全体の人口が増えていけば白岡市は心配ないのではと感じる。マスコミでも取り上げているが、外国人労働者も高齢者となるのではないか。外国人労働者は現在260万人おり、増え続けている状況である。その方々の対応方法も考えなければならぬと感じている。</p>
議長	<p>高齢者でも若い方に負けない元気な方はいる。高齢者も働く社会になってきてはいるが、これからの社会に期待したいと考えている。</p>
G 委員	<p>外国人労働者を雇うことは大変なこと。組織的、金銭的な問題で帰るに帰れない状況もある。外国人労働者のために、政府がしっかり対応することが前提にあると感じる。</p> <p>また、高齢者夫婦のどちらかが亡くなると、残された方の元気が無くなるように感じる。どうすれば、そのような人を守れるかを皆で考えなければならない。元気が無くなる理由は話す人がいないことが原因で、1日に3人と話さないといけないと聞く。新しい知識を覚え、言葉遣いに気を付けることにより、認知症になることがなくなるからである。介護を受けるような人を作らないようにするかが問題である。</p>
議長	<p>確かに社会が大きく変わろうとしている中、良い方法を考えていかないといけないと思う。</p> <p>民生委員の方に伺うが、エンディングノートを書かれた方はいるか。</p>
D 委員	<p>皆で終活について勉強したり、本をくれたり書き方を教えてくれたりしているところはある。自分達は、書く前にやることがあるのではないかと、元気でいられる方法はないかということで、地域包括支援センターの福田さんがお見えになって、こうすれば元気でいられるという指導を受けた。70歳以上で35～36人集まり、スライドを使用して教えていただいた。このような機会が年に2回しかないが、もっと数を増やしたいと考えている。そういったことを各地域で行っていると思うが、どこの地域でも行えれば話ができる機会になるのではないかと。</p>

議長	<p>前、高齢者と話した時、買い物がなくても人と会って話ができるため、スーパーに出かけると言っていた。高齢者は皆話がしたいのだと思う。</p> <p>元気なうちに、日頃の付き合いの中で話ができればよい。一人暮らしの方が亡くなると大変である。親族の連絡先が分からない。このエンディングノートだけでなく、地域の防災関係の方々やお隣さんでも良いので、個人情報ぎりぎりの範囲で連携し、分かり合えればよいと思う。個人情報厳守は共通理解の一つではあるが、人の命を守ることとつながりを持つことを考えれば、個人情報厳守はこの際置いておく方が良いのではないか。</p> <p>事務局はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>資料6の「つながりを考える会」は、講演会の話をもとに、皆でつながることについて、地域の方に自分で考え実行してもらいたいという考えから開催するものである。白岡では、小学校区域を1つの区域として考えており、健康いきいき体操カフェを行う区域や、花笠音頭を実施する区域等、行政区を中心に頑張っている。公会堂を使用する際には、料金の問題が発生するが、行政区が中心となって活動する場合、無料にして参加しやすいようにしている。皆で支え合いながらも、自分達のことは自分達でやるということを前提に行い、いつも25～26人必ず来ていて、資料を持って行ったり、声をかけたり、いろいろ工夫している。企画している人は色々なことを考え、カルタや防災教室等、自分達の世代だけでなく次の世代とも一緒に交流しようとしている。皆でつながることにより、他の地域のアイデアを自分の地域に持ち帰り、参考にしてもらおうことで、良い地域になっていくのではと考えている。</p>
議長	<p>社会福祉協議会が、色々な地域の活動をしている。70人集まって会を開いたが、どのようなことを行うかを考えるのに苦労した。そんな中、浅野委員に助けていただいて面白いことをやっていただいた。</p>
副会長	<p>まず、前回の運営協議会で人形劇の放送を予告したが、延期になってしまったことを謝りたい。いきいきサロンにて、毎回色々考えて楽しんでいただけるよう</p>

	<p>努めている。今回、人形劇をやっていただけないかということで行った。浅井さんの区域や、他の区域でも実施し、規模はそれぞれ違うが楽しんでいただけた。それぞれ横のつながりを作りたいという思いで、一生懸命励んでくれている。又、高齢者が話したいという気持ちがあるということについて、傾聴ボランティアを行っている。高齢者の話し相手をさせてもらい、市内にある施設に月に2回ずつ行って、不特定の人と話をする。最初はしゃべり慣れていない、しゃべりたくないという方も多々いるが、少し話すと目を輝かせて話をしていただける。話をしたいという思いを感じる。施設へお訪ねするだけでなく、個人宅へ行くこともある。朝から晩まで1人でいる人は、誰かと話したいと思っている。話をすることで、色々なことが広がる。次の発展がある。</p>
C 委員	<p>老人クラブでは、何人かが旅行を企画していただけて、コミュニケーションの機会があり楽しい。日帰り旅行もあり、簡単に行ける。グランドゴルフ、カラオケ等やっている。女性の方が元気である。男性はスポーツしている人は感じないが、遠慮しがちなところはある。</p>
議長	<p>何かやろうとしていると、お金がかかる。10人グループでカフェを開こうと考えているが何をやるか、いつやるか検討中である。身近なところでも出来るよう、小規模で行いたい。行政の力を借りながら、地域に溶け込んでもらえるようなものやりたい。</p>
H 委員	<p>行政の役員をやっているが、市民の集まりの中で、男性でも器用な方がいると感じる。又、同じ顔ぶれになってしまうので、もっと広がれば良いと思う。</p>
A 委員	<p>役割とかチームとかを与えると、男の人は行動するかもしれない。</p>
D 委員	<p>グランドゴルフを行っているが、男女半々いる。グランドゴルフだけでなく、総会、飲み会、暑気払い、忘年会等皆楽しくやっている。最初は会員6人しかいなかったが、今は会員22名いる。入って良かったと言ってくれる。女性と男性で役割を持って、責任を持ってやっている。最高に盛り上がっている。</p>

I 委員	<p>高齢化率は全国27.73%だが、75歳以上になると半分くらいになる。よって、約13%の方がまだまだ働ける方であると思う。最近、近くのクリニックの医師が、旦那さんが亡くなった70過ぎの奥さんを職員として紹介してくれた。その方は現在、短時間のパートで就業中である。自分の施設にもこのような方が増えている。介護職員は全国的に不足しているが、65歳以上75歳未満、又は75歳以上で元気な方が介護施設で働くことで人材不足が解消するのではないか。男性が短時間で来る人がいないのに対し、女性はたくさんいる。男性の方が出てこられるようになれば良いと思う。65歳以上の働ける人の中で、ご近所の高齢者施設に声をかければ、2時間で良いから来てくださいと言われる施設がたくさんあるのではないかと。社会参加ができて、健康維持にもなって、友達もできる。私の施設では、暑気払い忘年会も80名くらいで全員参加している。そうすることで、若い人とも話すことが出来る。この取組を白岡市中の福祉施設からでも総動員できるような体制を作っておくと、若くてフルタイムで働く介護職員が疲弊しない状態になるのではと考える。外国人労働者に頼る前に、65歳以上の高齢者をフル活用できるような体制を市内で取り組めたらと思う。</p>
J 委員	<p>昔と違って、高齢者は元気な人が多い。どんどん働いてもらいたい。</p>
K 委員	<p>高齢者全員が働けるかといえば、大変な部分がある。介護と地域の方がコミュニケーションを取りながらやっていけば、色々な案が出ると思う。</p>
副会長	<p>市は、一生懸命旗を振ってくれていると思う。地域が弱体化していかないように、行政がヒントを出してくれている。住民が受け止めて、自分たちの問題として、地域に提言したり、力になったり、自分が持っているものを微力であっても使って活性化していければ、白岡市民のつながりも強固になっていくのでは。</p>
B 委員	<p>延命措置をして欲しいとかだけでなく、どんな風に自分が生きていきたいかというプロセスが大事と考える。エンディングノートは、そのプロセスであると感じる。どんな風に医療を受けたいか、介護はどうしたいか、自分が判断できない時は誰に判断を委ねるかを元気な時に話し合っておく機会を持つことが推奨さ</p>

	<p>れている。医療の現場では、救急隊が困らないよう独居の家の冷蔵庫に希望する事柄を貼っておくようになった。もう少し範囲を広げて記せたら、救急隊も困らない。運ばれた時にどうしたら良いか、何を希望しているのか、どなたに連絡するかが分かったら、要らない延命治療をしなくても良く、ご希望の治療をすることが出来る。話し合う機会は、訪問介護やケアマネジャーではとてもできない。皆が活動しているところで、話し合いをした方がよい。活動をどのように広げられるかが自分のテーマであった。白岡市ではエンディングノートという良いものを作ってくれ、良い市になってきたと感じた。エンディングノートの書き方について、皆が活動しているところで、訪問介護士や色々な知識をもつ看護師が、アドバイス出来ればと思う。救急隊と共同で出来ればとも思う。</p> <p>エンディングノートは蓮田市で好評だったもので、白岡市では市民からの希望はなかったが、ご家族と話すきっかけづくりになればと思って動き出した。題名に「自分らしく生きるために」と入れたのは、担当が色々と考えて、敢えて入れたもの。今後どうしていくか、若い頃の思い出を踏まえてこれからどうするかが書けるようになっている。このエンディングノートを普及していただいて、一人でも多く、内容を検討しながら家族等の身近な人と話してもらえたらと思う。自分らしく生きるということで、1回限りではなく、何年か後も見直すのも良い。救急隊の話を伺ったが、冷蔵庫に貼れるものがあると良いという話は検討しても良いと思う。ヒントをいただいた。</p> <p>家族とか近い人と、話すきっかけになる。お父さんはそんなことを考えていたのかというものが白岡で出来ればと思っていた。思い出のことを書いてあるのも凄く良いと思う。こうして生きたいと思うきっかけになる。</p> <p>他市とそんなに違いはないが、そういった考える一つのきっかけになればと思っている。身近な方に是非中を見てもらって、考えてもらえればと思う。</p> <p>本人でないとエンディングノートはもらえないのか。</p>
事務局	
B 委員	
事務局	
D 委員	

事務局	そんなことはない。
K委員	持ち歩き用があれば、バッグ等に入れられる。今の物は家に置いておくことしか出来ないなので、抜粋したものはどうだろうか。身分証明にもなるし良いのでは。
議長	議事全体終了の旨を述べ、委員の協力に対し謝し、議長を降りる。
課長	浅井議長が、当協議会の委員を辞任するため、今までの協力に対し謝し、挨拶を求める。
議長	挨拶を行う。
課長	以上で、本日の議事全体終了を述べ、副会長に閉会の挨拶を求める。
副会長	挨拶を行う。
課長	慎重会議を謝し、閉会を宣した。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

年 月 日